

## 三條北ロータリークラブ週報

No.26



フランチェスコ・アレツォ RI 会長

第 2560 地区：室賀信宏ガバナー

三條北 RC：羽賀一真 会長

「よいことのために手を取りあおう」

～UNITE FOR GOOD～

「ロータリーで善の循環を」

「初心にかえって新しいことへの挑戦」



会長：羽賀一真 幹事：森 宏 SAA：齋藤孝之輔

●例会日：火曜日 12：30～13：30 ●例会場：三條ロイヤルホテル Tel 0256-34-8111

- ◆本日の行事：「外部卓話」
- ◆本日の出席：45名中26名
- ◆先々回の出席率：45名中36名 82.00%  
(前年同期 83.33%)

- ◆本日のゲスト：  
三條市商工会 青年部 高山 啓二 様  
経営支援室 主事 児玉 大作 様

- ◆本日のオブザーバー：  
米山記念奨学生  
ペレス エレラ, アンドレア さん

- \*本日の配布書類等
  - ・月信 2月号(閲覧)・週報 No.1826(HP)
  - ・三條北 RC 40周年記念式典ご案内

- ◆先週のメイクアップ(敬称略)：
  - 2/10 分水 RC 外山裕一、野崎喜嗣
  - 2/10 柏崎中央 RC 長谷川千佳
  - 2/18 7クラブ有志ゴルフ大会打合せ会  
松山浩仁、武田恒夫、野崎喜嗣
  - 2/14 米山委員長セミナー 羽賀一真
  - 2/18 ゴルフ同好会 総会・新年会  
石川一昭、岡田大介、落合益夫、柄沢憲司  
齋藤孝之輔、佐藤義英、武田恒夫、外山裕一  
田口実仁佳、野崎喜嗣、澁岡 茂、松山浩仁  
森 宏、長谷川千佳、江田健一
  - 2/18 40周年実行委員会 羽賀一真、外山裕一  
松山浩仁、金子太一郎、野崎喜嗣
  - 2/19 三條東 RC 石川勝行、石川友意、渋谷義徳

## 会長挨拶：羽賀一真 会長



みなさん、こんにちは！本日は商工会の児玉大作様、青年部の高山啓二様、よろしくお願ひいたします。そして、アンドレアさん、ご卒業おめでとうございます。今後ますますのご活躍を期待しています。

さて、ミラノ・コルティナオリンピックが閉幕しました。新潟出身の選手は7人出場しましたが、先日の僕の会長あいさつでも触れた通り、僕はそのうち特に2人の選手に注目していました。そう、平野歩夢選手と、中井亜美選手です。

平野歩夢選手は、大ケガを押しての強行出場でしたが、平野歩夢選手本人も「生きて帰って来られてよかった。生きるか死ぬかの戦いで滑った。」と言っておりました。メダルや順位よりも、本当に無事でよかったと思っています。

そして、なんとと言っても、中井亜美選手です。先日お話した通り、今から8年ほど前に新潟市アイスアリーナに家族5人で行った時に撮影したホームビデオに、中井亜美選手も映っていたはずなんです。今思えばその未来のオリンピック選手の

顔をアップで撮影しておけば貴重映像になったのにな、と思います(笑)オリンピックが近づいてきた時には、夕方の新潟の地方テレビニュースで毎日のように中井亜美選手が特集されていたので、僕もひと際注目していました。しかし、中井亜美選手には大変失礼なんです。僕は、新潟の片田舎から「出るだけの選手」くらいの認識しかなかったのです。

それでもテレビ中継のLIVEをリアルタイムで見えていました。まずはショートプログラム、どこにでもいそうな普通の女子高生が、まるで、しまむらで買ってきたような赤と白の横縞模様の服(しかしイタリアでは深い意味を持つ)を着て出場しながらも、見事なトリプルアクセルを決め、笑顔もはじけ圧巻の演技！とてつもないオリンピックデビューになりました！2日後のフリーで最終滑走者となった中井亜美選手はフリーでも見事なトリプルアクセルを決めたのですが、本人は納得いかなかったのか、演技終了後には右手人差し指をほっぺと唇に当てて首を傾げるあの仕草もリアルタイムで見えていたのですが、僕は「ああ、その



自信の無さが、ジャッジへのアピールとしてマイナスにならなければいいがな。」心配したのですが、あれは、すでに採点が終了した後だそうです。しかし世界中のネットや SNS で「あざとかわいい仕事」としてキュンキュンされているそうですね。見事な銅メダルでした！

新潟の片田舎から出た普通の女子高生が今では世界のスーパーアイドル、いや世界のトップアス

リートとして鮮烈なデビューを果たしました。中井亜美選手は浅田真央選手に憧れてフィギュアスケートの道を選んだとのこと。しかし浅田真央選手はマスコミが追いかけ過ぎたプレッシャーからメンタルをやられたとのことですので、中井亜美選手はマスコミもそっとしてあげておいたうえで、これからの活躍に期待したいですね。

## 幹事報告：森 宏 幹事



- ・三条南 RC より、「第 45 回 7 クラブ有志ゴルフ大会のご案内」  
日時：6月6日(土)9:00 スタート 場所：下田城カントリー倶楽部
- ・十日町 RC より、「創立 70 周年記念式典のご案内」  
日時：5月16日(土)11:00 会場：あてま高原リゾート ベルナティオ
- ・三条市共同募金委員会から、「議案書の送付について」
- ・三条市特別支援教育研究協議会より、「どんぐり第 55 集の送付について」



## 米山奨学生奨学金授与

●奨学生 ペレス エレラ, アンドレアさん (メキシコ / 長岡技術科学大学)

皆さんこんにちは。今日は最後なので、皆さんにちっちゃいメッセージを準備しました。今年、ロータリー米山記念奨学生となり三条北ロータリークラブでお世話になっていることは大変嬉しく思っています。メンバーの皆様のおかげで日本について学び、日本文化を体験することができました。皆様のご支援は金銭的な支援だけでなく、活動への参加を通じて日本について学ぶ機会にもなり、大変感謝しています。

本当にありがとうございました。これからも精進して参ります。ありがとうございました。



## 委員会報告：外山裕一 40 周年実行委員長



我がクラブの 40 周年記念式典まで残すところあと 2 ヶ月を切りました。準備は着々と進んではおりますが、まだつめた段階ではございません。

計画された 40 周年記念事業の中で、まずはホームページのリニューアル。次に、このバナーにある鬼の鬼踊り奉賛会へ道具の寄贈についても、鬼踊り本番も無事終了しました。三条駅の三条高校側に改

札口を作る運動についても、ポスター・チラシを作り、スマホアンケートもスタートし始めています。

これから大本番の 4 月 18 日創立 40 周年記念式典を迎えます。クラブ会員全員参加していただくようお願いしたく登壇しました。また、4 月 7 日の例会に事前打ち合わせとして、当日の役割等発表させていただきます。皆様と是非大成功で終わりたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願ひします。

## ロータリー財団 BOX

2月24日現在累計 343,000円

- |         |  |
|---------|--|
| 羽賀 一真 君 | 三条市商工会青年部高山啓二様、経営支援室主事児玉大作様、本日はよろしくお願ひいたします。                             |
| 森 宏 君   | 三条市商工会青年部高山啓二様、児玉大作様を歓迎して。   |
| 長谷川千佳 君 | 協力します。   |
| 石黒 隆夫 君 | 三条市商工会高山様、児玉様、本日はようこそ三条北 RC へ、卓話ありがとうございます。ペレスエレラ, アンドレアさん、卒業おめでとうございます。 |
| 花井 知之 君 | 福岡委員長に協力します。   |
| 星野 義男 君 | 財団に協力します。  |
| 湊岡 茂 君  | 福岡委員長に協力。  |
| 福岡 信行 君 | 皆様のご協力に感謝いたします。  |



## 米山奨学BOX

2月24日現在累計 279,200円

- 羽賀 一真 君 アンドレアさん、ご卒業おめでとうございます。  
今後のますますのご活躍を期待しております。
- 石川 勝行 君 本日の卓話、三条市商工会の皆様、よろしくお願い申し上げます。
- 森 宏 君 アンドレアさんの最後の出席ですね。残念ですがお元気で。
- 渋谷 義徳 君 米山奨学BOXに協力します。
- 落合 益夫 君 協力します。



## スマイルBOX

2月24日現在累計 793,000円

- 松山 浩仁 君 本日は高山様、児玉様よろしくお願い致します。  
先週、息子が無事結婚することが出来ました。
- 羽賀 一真 君 ミラノ・コルティナオリンピックでの日本人選手の活躍を祝して！
- 森 宏 君 連休に、ひと足早く三島に行き、翌日は伊豆急下田に家族旅行で行って来ました。
- 齋藤孝之輔 君 ペレスエレラ、アンドレアさん、いつも楽しく話をさせてもらいありがとうございました。  
これからもお元気でがんばってください
- 星野 義男 君 三条商工会の皆様を歓迎します。
- 柄沢 憲司 君 BOXに協力します。
- 長谷川千佳 君 先日、今年度の自衛隊候補生の方々の激励会に出席してきました。  
息子は居ませんが6名の子に会ってきました。たのもしかったです。
- 金子太一郎 君 本日、三条市商工会青年部高山様、そして児玉様、よろしくお願い致します。
- 米山 忠俊 君 本日の卓話は、三条市商工会青年部高山啓二様、経営支援室主事児玉大作様、  
ようこそおいで頂きました。有り難うございます。
- 石川 一昭 君 三条市商工会青年部高山様、児玉様、ようこそ北RCへ。卓話楽しみです。
- 佐藤 義英 君 BOXに協力。
- 武田 恒夫 君 先週、鉄鋼メーカーの製鉄所見学に千葉まで行って来ました。ただ暑かったです。  
1100℃の鉄の塊と外気温!!
- 外山 裕一 君 BOXに協力。
- 石川 友意 君 三条市商工会高山様、児玉様、米山奨学生アンドレアさんを歓迎して!!
- 落合 益夫 君 BOXに協力。
- 田崎 尚志 君 ご協力ありがとうございます。



## 本日の行事：「外部卓話」

### 講師紹介：松山 浩仁 プログラム委員長

羽賀年度が始まってまもなくの7月10日の三條新聞に、新潟県商工会青年部連合会の主張発表大会で三条市商工会の高山さんが最優秀賞を受賞されたという記事を拝見しました。高山さんは「残したい地域の原風景と青年部活動」と題し、栄地域で行ったホテル再生への取り組みについて発表されました。

この記事を見たとき、是非例会で卓話いただきたいと思い商工会の方にお願ひし、私もしらさぎ公園にホテルを久々に童心に帰って見に行きました。非常に綺麗な風景でした。

では、児玉様、高山様よろしくお願い致します。



### 「三条市商工会青年部のご紹介」

三条市商工会 経営支援室  
主事 児玉 大作 様



#### 商工会青年部宣言

かけがえのない人たちと、かけがえのない地域のために、われわれは、自己の利益追求のみならず、国家を基盤とした社会の恒久的な平和と繁栄を実現する。  
若き事業家として、何人にも侵されない自立した経営を確立し、地域の商工業を躍動させ、地域の一員

としてその責任を自覚すると共に先人の教えに学びつつ、未来に向けた活力ある社会を創出する。  
この美しい国、日本に生きる者として、地球の環境問題を捉え、われわれだけでなく、次世代の人々の為にも、継続的な運動を推し進める。  
そして全ての国家、民族との交流を積極的に図り永續的共生を同じ時代を担う者としてここに誓う。

## 誓いの言葉

- 1.われわれ商工会青年部は、創造力と行動力をいかし、地域振興発展の先駆者となる。
- 1.われわれ商工会青年部は、商工会の後継者であり、将来の中核として、組織活性化の推進力となる。
- 1.われわれ商工会青年部は、社会一般の福祉の増進に努め、新しいまちづくりの原動力となる。



通常総会・監査会

4月



三条祭り大名行列

5月



花菖蒲まつり

6月



青年部長等研修会（主張発表大会）

7月



下田ふるさと祭り

8月



しらさぎ森林公園草刈りボランティア

9月



商工会青年部連絡協議会関東ブロック大会

10月



栄ふるさと祭り

10月



商工会青年部全国大会

11月



忘年会

12月



視察研修

2月

三条市商工会青年部では、地域振興発展に寄与し、かつ、地域を超えた部員交流を後押しします。若手経営者・後継者が互いの知見や課題を共有し、産業連携、新たな取引・共同事業の創出が可能になるよう、ネットワーク構築の場を提供します。

45歳以下の若手経営者の方々のお問合せを、お待ちしております。



## 「残したい地域の原風景と青年部活動 ～三条市商工会青年部としての一步～」

三条市商工会青年部 高山 啓二 様

皆さんの心の中に故郷の原風景はありますか？目を閉じれば子供の頃里山を駆け回り、夕暮れを迎え暗くなった帰り道を無数の蛍が飛び交い涼やかな光が家路へと導いてくれる…それが私の故郷の原風景です。ところが近年、初夏の訪れを告げてくれる故郷の風景が猛暑の影響で危機に瀕しています。皆さんの中にも消えてゆく地域の自然や文化に直面されている方もきっとおられると思います。

そんな厳しい地球環境や新しい生活様式を前に青年部活動を諦めていませんか？私達は今これまで以上に人と社会の共創、貴重な故郷の自然環境を守る活動に挑んでいます。子供たちに残してあげたい未来を商工会青年部の仲間たちと共に創りあげていけると信じて。

皆さんこんにちは。新潟県より参りました、三条市商工会青年部高山啓二と申します。三条市商工会は下田商工会と栄商工会が令和6年に合併してできた新しい商工会です。私の住む三条市栄地区は越後平野のほぼ中央に位置し、その平坦な地形と同様に住む人々も平らで穏やかな町民性を持ち兼業農家も多く働き者の多い地域です。私は青年部に2013年に入部し現在44歳、家業は父の代から電気工事業を営んでおります。私自身は家業に就く30歳まで他業種に勤務しておりましたが転職を機に家業を継ぐ事になりました。職人のキャリアとしては遅いスタートでしたので、仕事を覚える事はもちろん、この地区で生き残るために私なりのアイデンティティを模索していました。小さな電気工事屋ですが、目の前にいる人々や物事と向き合い電気設備を通じて共に生活や文化を創造していく企業を目指して40歳を過ぎても勉強の毎日です。

さて、冒頭申上げた私たちの挑戦は「お祭りや交流に頼らない、全く新たな地域貢献活動の確立です。転機になったのは部長をさせていただくことになった2021年。時は新型コロナウイルス時代真只中です。私たちの商工会では大きく分けて二つの事業をメインに活動しております。6月に地元

のしらさぎ森林公園にて100種2万本、園内一面が花菖蒲の紫に彩られ、そこに舞う蛍の鑑賞会が行われる花菖蒲まつり。8月と10月に下田栄地区それぞれで大花火大会、イベント出店と盛大に行われるふるさと祭り。いずれも祭りでの模擬店をメインにした事業。当時は、当然それぞれが中止に追い込まれ、『祭りや交流に頼らず地域貢献する青年部活動を今起こさなければ歴代部長から繋いできた青年部の魅力、地域への想いがここで途絶えてしまう！』と我々が今できる事、新たな活動について模索し始めます。部長就任早々、三条市主催で行われる花菖蒲まつりの実行委員会の会議が行われ、市の担当者は「感染防止のため、飲食出店は中止、密を避けて静かに花を觀賞していただきます」冒頭から高らかに宣言。「ちょっと待ってください！青年部で何かできることはありませんか！？」「じゃあ、駐車場の誘導員ボランティアお願いできますか？」なんでも良い、青年部として地域と関わりを無くしてはいけないと引き受けましたが、なにかほかに青年部らしい関わり方は無いのだろうか？とも同時に思っていました。その会議終了後ある方に声をかけられます。『高山さん、今回は残念だったけど毎年青年部の皆さんでお祭りを盛り上げてくれてありがとう。相談なのですがしらさぎ森林公園の蛍の保全活動を青年部で助けてもらえないでしょうか？』その方にはいたがた里山研究会の代表小林さんでした。

にいたがた里山研究会の方々には毎年、公園内のほたるの生育環境である水路の草刈り清掃を行っています。会員の高齢化が進み、マンパワーが不足しているという事でした。「これは新しい青年部活動になるかもしれない！」早速商工会の仲間達に提案します。ほとんどの活動を制限され無力感を感じていた部員の仲間達から『今できる事、やりましょう！』とうれい返事をもらえました。そもそも水路の草刈りと蛍の保全、どんな繋がりかといいますと、毎年公園内の水路が蛍の産卵場になるのですが、定期的な下草刈りで良好な水質維持をすることで蛍の餌となる貝の一種[カワニナ]の生育を促し、蛍に必要なビオトープを保つこと

が出来るのです。それから毎年春と秋、青年部総出で公園内の環境整備に取り組みここ数年間で新しい生活様式にも適応する新たな地域貢献の機会を得ることが出来ました。

毎年、手伝ってくれる仲間たちも、蛍はもちろん、公園の花菖蒲への関心、なにより地域の人々が公園を大切にしていることへの理解が深まっているようでした。ですが、新たな問題に直面します。大切な蛍の減少です。

「ここ数年猛暑の影響で蛍の産卵場である水路が干上がっている。来年もまた蛍が少なくなってしまうかもしれない」小林さんのこの一言がきっかけでした。

さっそく我々で今出来る事の話し合いをすることに。「なんとか山から水を引けないだろうか?」「そういえば、公園の奥にある数十年放置された旧溜池がある。その埋もれた溜池を青年部で復活させて公園の水路に繋がたらどうだろうか?」「それなら夏場の酷暑も乗り切れるかもしれない!」すぐ実行しようと決めました。やりきれぬ自信があったからです。私達の商工会青年部はつい最近、下田商工会、栄商工会が合併し青年部員も大きく増えマンパワーが飛躍的に大きくなりました。しかし合併後の青年部の形を模索しているところであったため、今回の活動をきっかけに二つの地区の青年部員の仲間たちがシナジーを起こす絶好の機会になると確信したからです。早速、市役所に我々が溜池に手を加える許可を出していただき、部員みんなで多くの資材を持ち寄り現地にて作戦会議を行いました。重機も入れず、長年放置され土砂が堆積し、想像以上に荒れ果てた溜池の前にみんなしり込みすると思いきや「チェーンソーで倒木を細かく刻んで搬出しやすいようにしよ

う!」「雑草を刈り取ってどこに水源があるか探します」「将来、この活動を若い世代にも伝えたい。ドローンを飛ばして作業風景を撮影しよう」と普段大人しい部員達からもポジティブな意見が飛び交い、みんな元気よくあわや膝上まではまってしまふような湿地に飛び込んでいきます。下田・栄地区の仲間たちが共に一つの事業に汗を流す姿を見て、ここまで合併に向けていろいろ苦労してきた中で、一つの前向きな光が見えた瞬間でした。

この活動を続け新潟県青連の事業支援の承認も受け、青年部の仲間たちの力で美しい溜池の姿を取り戻し、公園内の水路に繋ぐことに成功します。そしてつい先月、今年も蛍が花菖蒲園いっぱいに舞い、多くの家族連れの皆さんが幻想的な初夏の風景に目を輝かせていました。故郷の原風景を一つ守ることが出来たのです。毎年当たり前のように見ているこの光景を守り続ける事は地道な影の活動があるからです。商工会青年部が携わっていることを多くの方は知らないかもしれないし、この先ワクワクするような展開も無いかもしれない。知ってもらうことも大事だけれど、私達の想いがこうして故郷の風景として現れている。変化していく時代の中で商工会青年部としての変わらぬアイデンティティを確立することをこれからも諦めない。未来に向けた活力ある社会を創出するために。仲間達一人一人がアイデアや課題を考え実行することで初めて価値化し、地域貢献へと繋がっていく。皆さんの町もそうだと思います。私はこれからも若い仲間たちに伝えて繋がっていきたい。未来を担う子供たちが誇れる街となるために商工会青年部は町づくりの原動力となる責任があると同時に、ここにいる誰もが夢を実現し想像を超えた未来を創れる可能性があるということ。



米山記念奨学生 ペレス エレラ,アンドレアさんを囲んで